年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　　科目　国語表現

教　科：　国語　　科　目：　国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　組～　　組

教科担当者：（①井上　　（②井上　　）（③阿部　　）（④阿部　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 国語表現　大修館書店　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識及び技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力や共感する力、想像力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉をとおして他者や社会に関わる態度を育てる。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識及び技能を身につける。	論理的思考力や共感する力、想像力を高める。	言葉をとおして他者や社会に関わる態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	・言葉と出会う 「言葉と表記」 「整った文章を書く」 「わかりやすい文を書く」 「文のつなぎ方」	○	○		・自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現の仕方を工夫している。	○	○	○	15
	・自己紹介のやりとりをとおして、相互理解を図る。 ・取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすい自己紹介をする。	・伝える、伝え合う 「自己紹介文を書く」 「言葉のストレス」 「絵や写真を見て書こう」 「マイニュース記事を書こう」	○	○		・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介をしている。	○	○	○	15
2学期	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに従って小論文を書く。	・小論文・レポート入門 「小論文とは何か」 「反論を想定して書く」 「統計資料を読み取って書く」 「発想を広げて書く」 「レポートを書く」	○	○		・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 ・小論文と感想文の違いについて理解し、表現できる。				16
	・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことを踏まえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	・自己ＰＲ 「自分をみつめて」 「効果的な自己ＰＲ」 「将来の自分を書こう」 「志望動機を書こう」	○	○		・言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせを工夫して、伝えたいことを明確にしている。				16
3学期	・様々な通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	・メディアを駆使する。 「通信文をかき分ける」 「電子メールの活用」 「ネット社会の付き合い方」	○	○		・書き言葉の特徴や役割、表現の特色通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し使い分けている。				8
										合計 70